

湖西市「ゼロカーボンシティ」宣言

～ 環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」の実現に向けて ～

近年、地球温暖化の進行により、これまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑等の異常気象による災害が多発しており、湖西市でも 2018 年に台風 24 号の影響による大規模停電が発生するなど、生命や暮らしが脅かされる事態が身近に迫ってきております。

2018 年に公表された I P C C（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるためには、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることが必要」とされており、我が国においては 2020 年 10 月に菅総理が「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素化への取組が国を挙げて強力に推し進められています。

湖西市は、これまで自動車産業を中心とした「モノづくり産業」のまちとして発展する一方、浜名湖や湖西連峰をはじめとする豊かな自然環境が数多くあります。

こうした豊かな自然と、安心して住み続けられる環境を次世代に継承していくとともに、湖西市の産業の柱である「モノづくり産業」を将来も持続的に発展させ、環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」を実現するため、市民・産業界・行政が連携して地球温暖化対策を進め、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする湖西市版の「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

取組の 4 本の柱

- 1 省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
- 2 「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
- 3 オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
- 4 行政におけるゼロカーボン化の推進

令和 3 年 7 月 2 1 日

湖西市長 